

東部管内青年部

12/6 岡山県倉敷市

「と思います」と激励を受けた。
その後、明治飼糧(株)担当者にも参加され、乳質、粗飼料動向、配合飼料情報等の情報交換を行った。内海会長は「会員が集まって意見発表、相談し解決して行きましょう」と会員らに声をかけられた。



東部地域管内の青年部(内海利彦会長)十一名は、明治乳業岡山工場を訪問し、工場視察、加えて商品や製造工程等の説明を受けた。
酪農部担当者からは、乳成分、細菌数、体細胞、牛舎の整理・整頓、清掃について触れられ、「バルク室で牛乳を飲みたいと思うくらいの気持ちになる牛乳生産をお願いします。優秀農家には良質乳生産牧場として表彰した

「バルク室」で牛乳を飲みたい
と思える生乳生産を！
明治乳業を視察

ほほえみ会

12/9 かんぼの郷庄原



ほほえみ会(橋本加代美会長)は、会員13名が参加して、年忘れの会を行った。橋本会長は「多忙な中での開催ですが、皆さんと久しぶりにお会い出来て大変うれしいです。今日は今年の疲れをしっかりと癒して帰りましょう」と挨拶された。乾杯の音頭をとった桑田誠子さんの「私たち女性がリフレッシュして元気になって、殿方を支えていきましょう」との発声で開宴した。

また、広酪の湯浅典子職員から「ひろらく女性グループ連絡協議会」の「MILK JAPAN in ひろしま」の牛乳普及活動を報告し、懇親の場では趣味の話題で盛り上がり、「頑張り過ぎずに過ごしましょう」と挨拶し、皆さんスッキリした様子で帰路につかれた。

女性の力で
酪農をしっかりとサポート！

西部地域組合員連絡協議会

12/20 西部事業所

和牛受精卵牛の生産で酪農経営の安定を



西部地域組合員連絡協議会(岡崎博昭会長)は、会員間の相乗効果によるレベルアップを目的に和牛受精卵の研修会を開催し、会員他七名が参加した。

研修会は、会員の渡辺和裕氏が講師となつて、「我が家の受精卵管理」をテーマに体験発表が行われた。

この発表では、下痢をさせない管理が大切であると強調された。今回の研修会では、会員の他、他地域からの参加希望もあり、有意義な研修会となった。

西部ミルク会

12/2 (株)広島北ホテル

乳質改善「セルカウンター」活用を促す

広酪西部ミルク会(東方田博子会長)は、会員間の意見交換会と講演会を開催した。東方田会長は「一年間お疲れ様でした、来年もしっかりと意見交換と親睦を図って頑張りましょう」と挨拶。

講演会では、隅屋寒三専務(広酪)から酪農情勢の報告を受け、三橋卓實職員(西部事業所)による体細胞簡易測定機器「セルカウンター」のデモンストレーションを行い、ぜひ乳質改善に活用頂きたいと述べた。研修会終了後は、親睦会で一年間の苦労話や来年度の計画などの話題で和やかに終了した。



千代田町酪農協議会・大朝酪農振興会

12/5 専教寺、12/16 円立寺

酪農経営に携わった愛牛に感謝!

千代田・大朝で畜魂祭



(千代田酪農協議会の家畜追悼法要)

十二月五日、千代田町酪農協議会主催の「家畜追悼法要」が専教寺で、また十六日には、大朝酪農振興会主催の「家畜供養祭」が円立寺で行われた。これには、関係畜産農家らが参加し、牧場の経営に貢献した死亡家畜を弔った。

千代田町酪農協議会

12/9 養老温泉

子供達に牛乳飲用の普及に努めたい!!

千代田町酪農協議会(柿原徳則会長)は、会員並びに関係者ら25名が参加して研修会と意見交換会を開催した。研修会では隅屋寒三専務(広酪)から「最近の酪農情勢」、荻原慎介職員(全酪連三次駐在員事務所)による飼料情勢の報告を受けた。質疑には、西原嘉一組合員が「保育所や小学校の子供達が牧場を訪れる機会が多く、牛乳の消費拡大への幟(のぼり)等のPR資材を提供頂ければ是非活用して普及活動に努めたい」との意見が出され、隅屋専務は「是非お願いしたい」と述べた。

その後、町議会議員やJA、削蹄師、乳業メーカー等の担当者らと意見交換を行った。



わきあいあい会

12/14 西部事業所

『酪農後継者』の 今後を考える

西部地域管内の酪農家をはじめ、獣医師、家畜商、酪農ヘルパーらで構成する「わきあいあい会」は意見交換会を開催し、会員十五名が集まって今後の酪農を語り合った。

今回が初めての開催とあって、それぞれの牧場や業種内容等を含めた自己紹介を行い、今後の酪農について、自らの思いや意見をだして語り合った。

多くの様々な意見が出され、意見集約とまで行かなかったが、発起人で初代会長の井上正芳さんは「様々な意見や提案を出し合って、関係者を含めて今後の酪農を考える姿勢が大事。それが若い力となる」と、今後のこの会の活動への期待感を述べた。

親睦会では、西原美和さんの手料理も振る舞われるなど、あわきあいあいの内に終了した。参加者は、連帯感を強めた。

あきたかた酪農振興会

12/16 神楽門前湯治村

高宮MBへも「セルカウンター」の設置を!!

あきたかた酪農振興会(榎野大樹会長)は、意見交換会を開催し、15名が参加した。冒頭、榎野会長は、東日本大震災への義援金とTPP反対署名運動への協力に対して御礼を述べ、意見交換会では、関係機関の皆様と新年に向けて、一年を振り返りながら親睦を深めた。安芸高田市議会議員の山根温子組合員からは「振興会の要望を議会へどんどん取り入れて行きたい」と力強い言葉を戴いた。

意見交換会では、会員から「来年4月から三次生乳検査センターが廃止され、岡山の生乳検査セ

ンターに統合されるが、組合は乳質改善を目的に独自に体細胞簡易測定機器「セルカウンター」を2つの事業所への設置を完了しているが、高宮ミルクボーイにも、是非設置をお願いしたい」とする要望があり、広酪の理事者でもある榎野会長は、理事会への提案を約束された。

榎野会長は「今日は来年に向けて、大変元気になるキッカケとなった。会員と関係機関が一致団結して、来年も一緒に頑張ってください」と締めくくられた。